

事務事業 No./名称	<input checked="" type="checkbox"/> サービス部門 健福-26 障害者社会参加促進事業 <input type="checkbox"/> 支援部門				ザイムスコード及び個別事業名		
					26	障害者社会参加促進事業	
主管課	障害者福祉課		関連課				
分野名	健康福祉						
目標 (目標値)	福祉運営事業の充実を図る						
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考			
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯				
	6,275人	6,231千円					
運営資源 状況	決算値	36,252千円	35,821千円				
	(国・県)	2,161千円	2,339千円				
	(負担金等)						
	(一般財源)	34,091千円	33,482千円				
	人員配置数	1.0人	1.0人				
	人件費	9,764千円	9,393千円				
	協働の パートナー	鎌倉市手話・要約筆記講習会実行委員会		鎌倉市手話・要約筆記講習会実行委員会			
事務事業 運営経費	総事業費	46,016千円	45,214千円				
	市民1人当りの経費	260円	256円				
	対象者1人当りの経費	7,333円	7,256円				
ベンチマーク (県内外自治体や民間団体との比較値)	団体名						
創意・工夫・課題等 改善状況	課題・問題点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか)					
	創意・工夫・課題等の改善点 21年度の成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか)					
	未解決の課題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか)					
	今後の方針 (対応・改善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか)					
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了							
評価結果	改善の必要性	タクシー券等助成事業及び手話通訳・要約筆記講習事業など利用者のニーズに対応した事業を実施していくなどにより、今後も障害者の社会参加促進の事業の充実を図る。			評価結果	改善の必要性	今後も障害者の社会参加促進の事業の充実を図ることが必要である。
A	有				A	有	
課長名		障害者福祉課長 茶木 和夫			部名・部長名		健康福祉部長 石井 和子